

令和8年度 第3回大津市教科用図書選定審議会【会議概要】

日時：令和8年7月13日（月）18:00～20:00

会場：大津市役所別館1階 大会議室

1 出席者

(1) 選定審議会委員（6名）

田中満委員、本宮裕示郎委員、大貫大輔委員、早藤可奈子委員、齋藤昌代委員、田中義也委員

(2) 事務局（4名）

南出晃学校教育課長、清村雅乃学校教育課参事、中西香織学校教育課主任指導主事、菅沼智也学校教育課主査

2 会議の要旨

(1) 開会

[事務局]

現時点で6名中6名の出席があり、大津市教科用図書選定審議会規則第5条第2項に規定する定足数を満たしているため、議事を進めることとする。なお、審議会は、協議する議事の内容を考慮し、採択後まで非公開とする。

(2) 本日の議題について

[会長]

本日の審議会の議題について、事務局より提案を求める。

[事務局]

前回まで配布した資料の訂正について説明。

本日の議題は、教育委員会への答申の方法について、推薦図書の決定、答申案について。

(3) 答申の方法について

[会長]

答申の方法について、意見を求める。

意見がないようなので、事務局より提案を求める。

[事務局]

資料に沿って説明。1ページが答申案。「別紙1」は小学校各教科、「別紙2」は中学校各教科の推薦図書。小学校は令和5年度の採択から、中学校は令和6年度の採択から、それぞれ4年間同一の教科書を使用するため、現在使用しているものと同じものを記載している。

「別紙3」は小中学校特別支援学級で使用する一般図書のうち、新規で推薦するもの、「別紙4」及び「別紙5」は新規の図書を含めた一覧表、本日の審議会で推薦図書とならなかったものがあれば、それぞれから削除する。以上を、7月27日に開催される教育委員会臨時会に答申する。

<質疑応答>

[委員]

別紙1、2の現在使用しているものも含めて今回採択ということで間違いはないか。

[事務局]

ご指摘のとおり。

[委員]

別紙6について、赤字と黒字の違いはなにか。

[事務局]

黒字については、現在使用しているもの。赤字は、対象者が進級するため、次学年のものを新たに追加する図書として赤字で記載している。

[委員]

別紙6の算数が2種類あるのはどういう意味か。

[事務局]

別紙6の1に記載されているものは、大日本図書が発行する教科書を原典教科書としているものであり、2に記載されているものは現在使用しているものの次学年分である。児童の状況に応じて学校がどちらかの教科書を選ぶことになる。

(4) 推薦図書の決定

[会長]

推薦図書の決定理由について、前回までの採択の際はどのようにしていたか。

[事務局]

昨年度までは、評価の集計表をもって推薦理由に代えると審議会で申し合わせがあった。

[会長]

特に異存がなければ、今年度も同様でどうか。

[委員]

異議なし。

[会長]

推薦図書を決定するにあたり、閲覧研究、意見交流及び評価の時間を設ける。

評価方法や推薦図書の決定方法について、事務局より説明を求める。

[事務局]

評価方法及び推薦図書の決定方法について説明。一般図書それぞれについて、特別支援学級での使用に相応しいか否かを各委員が○×で評価する。事務局で○の数を集計し、過半数の○を得た図書を推薦図書とすることについて議決されたい。

<質疑応答>なし

<教科用図書の閲覧、研究（約30分間）>

(5) 教科用図書についての意見交流

[会長]

閲覧、研究した図書について、各委員より意見を求める。

・「モンテッソーリ式 すなもじあいうえお」について

[委員]

あ行か行等で色が分かれており、イメージしやすい。

[委員]

ざらざらとしていてなぞりたくなる。書き順も書いてあり、わかりやすい。長期で使用した場合に取れてしまわないかと気になる。

[委員]

触ってみたいと興味を持ちやすい工夫がされている。

[委員]

彩り豊かで、指でなぞりたくなる作りにもなっており、楽しく学べる。いくつか例が少ない文字があるが、イラストもあるため、使い方次第でカバーできると思う。

・「学研ことばえじてん新装版」について

[委員]

優しい色彩で見やすいのと、ことばごとに例文があり、わかりやすい。

[委員]

意味が身近でわかりやすく書かれている点がよい。漢字が書いてあれば、より良いと思う。

・「下村式 となえておぼえる漢字の本小学1年生 改訂4版」について

[委員]

欄外にあるクイズ等が使いやすいと思う。

[委員]

最初に漢字に触れるにあたって、何故その形になっているかという部分から入っているので、とても入り込みやすい工夫がされている。

[委員]

どのページも同じ形で書かれており、安心感がありわかりやすい。

[委員]

漢字の成り立ちが書かれており、覚えやすい。意味の例題があり、その漢字を覚えやすい。

・「るるぶ 地図でよくわかる都道府県大百科」について

[委員]

この本1冊あれば、その地域の最低限の知識が学べてとても良い。

[委員]

配色が目につき、名産が地図上に絵で描かれており、わかりやすい。

[委員]

写真が豊富で旅行に行きたいと思え、興味を持てる。気になる点が2点あり、資料の根拠データが少し古いものも含まれていることと、都道府県によってページ数に差がある点が少し気になる。

・「どちらがおおい？かぞえるえほん さわるえ&てんじつき」について

[委員]

大きい数字までカバーできる。余計な絵がなく、わかりやすい。

[委員]

クイズもあり、友達と一緒に取り組めると思う。工夫しないと数えにくいところがあるのも良いと思う。

・「三省堂こどもかずの絵じてん 改訂版」について

[委員]

生活の中で触れる多くの者を題材にしており、イメージしやすい。

[委員]

電子マネー等が増えている中で、実際のお金も載っていてよいと思う。

・「チャイルドブックこども百科 なぜなぜ？ふしぎ図鑑なんでも200」について

[委員]

まず問いがあり、子どもに予想させる形式が良いと思う。ただし、同じページに答えが載っているのも、指導に工夫は必要。

[委員]

多くの子供が思いつく「なぜ」を網羅していると思う。

[委員]

イラストと写真の使い分けでわかりやすくなっている。

- ・「タッチペンで音が聞ける！ ドラえもんはじめての英語図鑑」について

[委員]

目からだけでなく、耳から学ぶことで印象に残りやすい。

[委員]

単語だけではなく、例文もあるため、学びが多い。

[委員]

ルビがあるのが良いと思う。耳で聞き、カタカナでも読めることでわかりやすい。

- ・「絵で見てわかる！きもちのことばじてん」について

[委員]

気持ちをことばで表現することはとても大事だと思う。フォントにも工夫がされている。

[委員]

感情を表すことばを知らない人も多くなっている中で、とても良い本である。少し気になる点は、絵や感情を探しにくい部分があるため、すぐに見つけられる工夫があれば、より良いと思う。全体として、感情の幅を広げて、それぞれの感情に共感することで本当に寄り添えることができると思うので、とても大切なことが学べると思う。

[委員]

新聞やドラマで出てくるようなことばが、生活に結びつくように絵があって良いと思う。

[委員]

実際に使いたくなるような書き方がされている点と、感情によって色を使い分けられている点が良いと思う。

- ・「さんすう点訳本」について

[委員]

文字だけだと思っていたが、図や表についても点字で表現されている点が良いと思う。

[会長]

その他、この場で協議すべきことがある方はいるか。

他に意見が無ければ評価に移りたい。

小中学校特別支援学級で使用する一般図書について評価を行う。手元にある評価用紙を記入し、記入ができた方から事務局に提出されたい。

<評価用紙の記入および集計>

(約5分)

[会長]

小中学校特別支援学級で使用する一般図書について集計結果の確認を行う。

事務局より、集計結果の報告を求める。

[事務局]

小中学校特別支援学級で使用する一般図書は、全ての図書が過半数の賛成であった。

[会長]

集計結果をもとに、議決を行う。

特別支援学級で使用する推薦図書について、集計結果では、全ての図書を推薦することとなった。賛成の方の挙手を求める。

全員賛成であったので、原案どおり全ての図書を推薦図書として決定する。

(6) 答申案について

[会長]

答申書の案は、資料に示されているとおりである。小学校各教科及び中学校各教科の推薦図書については、4年間同一の図書を使用することから、このままである。小中学校特別支援学級で使用する一般図書については、全て過半数の賛成があったため表のとおりとする。

今回決定した推薦図書について、教育委員会へ答申する。

[会長]

閉会宣言

(7) 事務連絡

[事務局]

本日の答申に基づき、7月27日に開催される教育委員会臨時会で採択される。なお、採択結果や協議会の会議概要、採択に係る資料については、採択後、準備が整い次第公開する。